

令和 8 年 2 月現在

プロジェクトの詳細

改修完了	: 令和8年2月15日
人口	: 約23,000人
対象人数	: 14名
対象面積	: 約70㎡ 2階 政策企画課 ABWエリア
建物概要	: 地上4階
受託業務	: 大河原町庁舎等オフィス 環境整備基本計画策定 等支援業務委託



執務スペース

デスクの広さは1人当たりW1200D600を確保。デスク中央に設けた配線孔により、机上面や足元の配線をすっきり収納。



窓口

着座で対応できるローカウンターと、ハイカウンターを兼ねた収納を組み合わせることで、使いやすさと省スペース化を両立。



窓口

カウンター高さは1115mmに設定。立って対応しやすい高さで、短時間の受付や案内をスムーズに行える。



オカムラHPでも
ご覧いただけます

概要

令和8年2月、宮城県大河原町では、職員の多様な働き方の実現と業務効率化を目的に、トライアルオフィスを導入しました。庁舎2階の政策企画課エリア約70㎡を対象とし、約14名が利用する執務環境として整備され、ABW(Activity Based Working)の考え方を取り入れた柔軟な働き方を可能にする空間設計が特徴です。

執務スペースでは、役職者を含めたフリーアドレス運用とワゴンレス化を採用し、自席を固定しない働き方を推進しています。また、上下昇降デスクの導入により、立位・座位を切り替えながら業務が可能となり、職員の健康維持と生産性向上を支援しています。さらに、全庁職員が利用できるABWエリアを設けることで、部署を越えたコミュニケーションの活性化や、業務内容に応じた働く場の選択を可能にしています。

ソファ席やハイテーブル、集中ブースなど多様なワークポイントを配置し、個人作業から打合せまで幅広く対応できる環境を実現しています。

そのほか、無線LANやチャットツールなどのデジタル基盤の整備により業務の効率化を図るとともに、文書の集約管理やモバイルディスプレイの導入によるペーパーレス化の推進によって文書削減も実現しています。

本取組は、将来的な庁舎全体への展開を見据えた実証として、運用を通じて得られた知見をもとに、具体的な整備方針の検討に活用されます。



窓口

収納とカウンターのラインを揃えて配置することで統一感を持たせ、通路幅の確保にも考慮したすっきりとした空間を形成。



個人ロッカー

ポスト付き個人ロッカーのサイズは1人当たりW414D398H499。棚板は可動式で、収納物に合わせて高さを調整できる。



上下昇降デスク

執務スペースに上下昇降デスクを採用。体格や作業内容に応じて姿勢を変えることで、健康維持や作業効率の向上をサポート。



ミーティングテーブル

緩やかな曲線形状のビッグテーブルは、座る位置により隣席との距離調整が可能。業務内容に応じて位置を変えることで、快適性とコミュニケーションを両立。



ポータブルバッテリー

PC用の電源としてだけでなく、予期せぬ災害や停電時にも緊急用の電源として使用することが可能。



ABWエリア

全職員が利用できるABWエリアの設置で、課を越えた交流やコミュニケーションを促進。利用目的に応じて働く場所を選べる柔軟性の高い空間を実現。



ABWエリア

家具配置を工夫することで、限られた空間の中でも快適な距離感を確保。落ち着いて過ごせる環境から自然なコミュニケーションが生まれる。



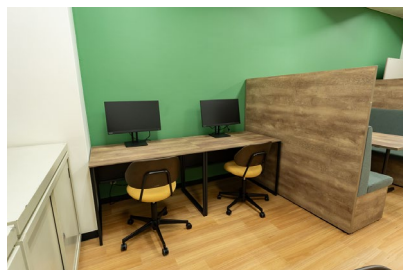
ファミレスブース席

背もたれとパネルで周囲からの視線を遮ることで適度なこもり感を演出。安心感があり、リラックスしてミーティングや相談ができる。



ベンチソファ席

ベンチソファの座面下を収納スペースとして活用し、防災用品や備蓄品などを効率的に収納。



作業スペース

1人当たりW1000D700の広さを確保したカウンターデスク。モニターを設置し、省スペースながら快適に作業できる環境を実現。



集中ブース

視線を遮り周囲の音を和らげる吸音パネルによって、作業に集中しやすい環境を確保。背後からの覗き込みを防ぎ、心理的にも安心して業務できる。



バッテリー充電台

入口付近に設置されたバッテリー充電スポット。最大8台までの同時充電が可能。